

【使用目的】

単層法で使用、または希釈して多層法で使用。

【特長】

80%のPercoll® 等張液の密度とほぼ同等の密度。

【品質確認試験】

ロットごとにpH、Osmolality、Sperm Survival Assay、Rabbit Pyrogen Test(ウサギ発熱性試験)、無菌性が試験される。

【2層法で使用する際のUpper layer (上層50%)の調製方法*】

* 5検体分。Lower layer(下層90%)は調製の必要なし。

1. 滅菌済みピペットで5.6 mLの本培地を滅菌済みのコニカルチューブに移す。
2. 滅菌済みピペットで4.4 mLのModified HTF Medium(カタログ番号 90126)を上記1の本培地に加える。
3. コニカルチューブのフタをしめ、3から4回ゆっくり転倒混和して溶液を完全に混合する。
4. コニカルチューブにUpper layerと記入する。

【単層法での使用方法】

下記使用事例を参照

【2層法での使用方法】

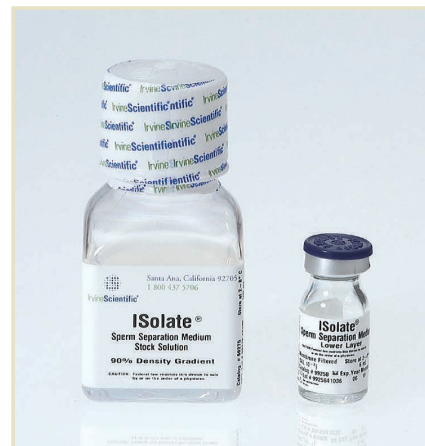
ISolate(カタログ番号 99264)参照※p.27

【保存温度】

2-8℃

【有効期間】

製造後2年



【使用上の注意】

異物の混在や溶液にコンタミネーションのような不均一な濁りがみられた場合には使用しないこと。

使用前に室温または37℃に加温すること。

CO₂インキュベーター内で使用する場合は、pHが変化しないように容器のフタを固く閉め、気相の交換が起きないようにすること。

抗生物質、タンパク質のサプリメント、防腐剤は添加されていない。

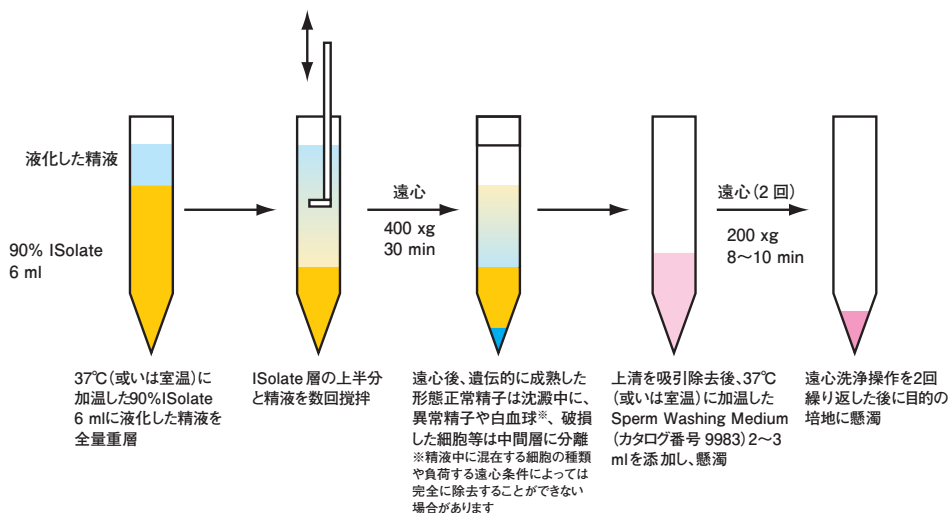
抗生物質を添加する場合は、アナフィラキシーを引き起こす可能性のあるものは使用しないこと。

凍結したり39℃以上にしないこと。

【参考文献】

ISolate (カタログ番号 99264)参照

ISolate Stock Solution (カタログ番号 99275 90%アイソレイト、99258 90% アイソレイト 6 ml キット)を用いた単層法の一例¹⁾



1) Kaneko S. et al., Arch. Androl. 1987, 19, 75-84 (ただし、Percoll®による調製法)